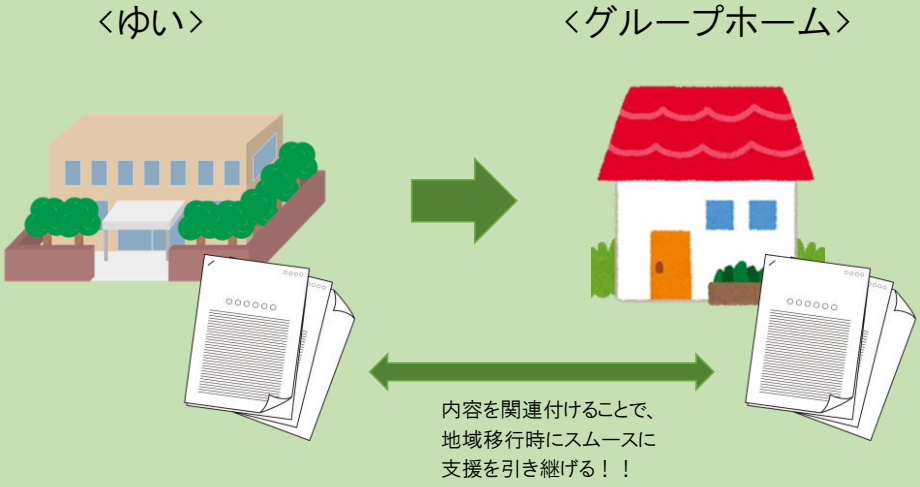
今年度2回目の、個別支援計画検討委員会からの報告です。あしり地域支援副主任八子からご報告をさせていただきます。

今年度の委員会の目標は以下の3点で、そのうち今回は②の取り組みについてご報告をさせていただきます。

① 機能的運用
② グループホームとの意見交換
③ 掲示板の活用

現在、東地域には6件のグループホームがあり、そこで暮らしている利用者さんの大半が、ゆい入所でのトレーニングを経て地域生活に移行をした方々です。利用者さん一人一人に合った活動や構造化の支援を行い、それを基に地域生活での支援を組み立てることで、環境が変わっても落ち着いてグループホームで暮らすことを目指しています。



そのため、ゆいで使用する個別支援計画書とグループホームで使用する個別支援計画書の内容を上手く関連付けることで、地域移行してもスムーズに支援を引き継ぐことが出来ると考えます。そのための第一歩として、ゆいと東地域支援の職員同士で個別支援計画書についての情報提供や意見交換等を行っているところです。

ゆいの個別支援計画書には、継続中の支援が一覧でわかる「中期計画B」という書式があるのですが、グループホーム側の支援計画書にはそれがありません。補足資料として追加・作成をしてみてはどうか、という意見が話し合いで挙がっていました。今後も意見交換を続けながら、利用者さんにとってより良い個別支援計画書になるよう、検討していきたいと思っています。